学校番号	2002

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学ＩA演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	新版　スタディ数学Ｉ・A　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は問題を繰り返し解き、知識を定着し、理解を深めることが重要です。数学ＩA演習では既習範囲での復習になりますので、自ら計画を立てて学習してください。予習をして、授業をうまく活用してください。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自で答え合わせも必ずやること。答え合わせは自分の考え方があっているかを知るために大切なものです。単なる「答えあわせ」にならないよう、注意しましょう。
問題集を解く際は問題集ノートを用意し、担当の先生の指示に従って提出しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
既習の「数学Ｉ」「数学A」の内容の中で、特に「数と式」「二次関数」「図形と計量」「場合の数と確率」「図形の性質」について授業で取り上げ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察する能力を養い、それらを活用できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し、数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業で扱う数学的な記号や式、グラフの定義（ルール）、計算の方法、図形の見方などの基本的な数学の仕組みを理解している。 計算をすることやグラフをかくこと、図形の見方など、問題を解決する道具として数学を活用するために必要な計算力、処理能力を身につけている。	方程式や関数、グラフ、場合の数と確率、図形の性質など、数学の授業で得た知識や考え方を論理的に考察し表現できる。 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う	授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な知識や考え方を様々な問題を解決する道具として数学を活用しようとする態度をもっている。 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度,粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度,問題解決の過程を振り返って考察を深める力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	1　式の展開と因数分解 2　実数 3　1次不等式	a：多項式の計算、根号を含む式の計算、展開、因数分解の計算ができる。 a：1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式が解ける。 b：文字の置き換えや、計算順序などに着目し、計算を簡単にする方法が考察できる。 b：問題文の条件から1次不等式を立てることができる。 c：授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート
	2次関数	1　2次関数とそのグラフ 2　2次方程式・2次不等式	a：平方完成をして、グラフをかくことができる。 a：関数の定義域、値域を理解し、グラフをかいて最大値・最小値を求めることができる。 a：与えられた条件から2次関数を求めることができる。 a：2次関数のグラフとx軸との共有点を2次方程式を用いて求めることができる。 a：2次不等式を解くことができる。 b：定義域に制限のついた2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 b：2次方程式の解から2次関数とx軸との関係性を見出し、判別式を通して2次不等式の問題に帰着させることができる。 c：授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート

2学期	図形と計量	1 三角比 2 図形の計量	a: 三角比の定義を理解し、三角比を求めることができる。 三角比の相互関係を理解し、活用できる。 a: 正弦定理、余弦定理、公式を用いて外接円の半径、辺の長さ、角の大きさ、三角形の面積などを求めることができる。 b: 木の高さや標高などを、三角比を用いて求めることができる。 正弦定理、余弦定理を用いて、空間図形の断面積や体積を求めることができる。 c: 授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	観察 提出ノート パフォーマンス課題
	場合の数と確率	1 場合の数 2 確率	a: 集合の要素の個数を利用し、場合の数を求めることができる。 いろいろな順列、組み合わせの総数を求めることができる。 a: 確率の定義を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができる。 b: 円順列、重複順列の考え方を理解し、活用できる。 b: さまざまな条件のもとで、確率を求めることができる。 c: 授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート
3学期	図形の性質	1 図形の性質 2 円の性質 3 空間図形	a: 三角形の辺と角の大小関係、三角形の五心、チェバの定理、メネラウスの定理、円周角の定理、円に内接するための条件、円と直線の位置関係、方べきの定理を理解し、活用できる。 b: 既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c: 授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	観察 提出ノート パフォーマンス課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度